

中学歴史 飛鳥・奈良時代

1, 要点チェック (レベル 1) * ページ順に解いてください

聖徳太子の政治と文化

6 世紀末、中国で (1) が国内を統一したころ、日本では推古天皇の摂政である (2) が有力な豪族の 蘇我馬子 と協力して、大王中心の政治を目指した。

2 の政治

- (3) の制度：役人を家柄でなく、個人の能力や功績で評価する仕組み
- (4)：役人の心構えを示すために作ったきまり。仏教を敬うことなど。
- (5) の派遣：(6) らを中国の 1 に派遣。進んだ文化や制度を取り入れようとした。
(7)；2 のころ、日本で最初の仏教文化が栄えた。
(8)：2 が建てたと伝えられている現存最古の木造建築
(9)：8 にある主な仏像。大陸の文化の影響を伝える。

大化の改新から律令国家

なかのおおえのおうじ (10) と なかとみのかまたり (11) は、645 年に 蘇我氏 をたおして、(12) という改革を始めた。

2 の死後に蘇我氏が権力を独占したが、10 と 11 が天皇中心の国をつくるため、蘇我氏をたおした。これまで日本の各地方は豪族たちが支配していたが、(13) を宣言して、天皇がすべての土地と人々を支配することに決めた。

10 は朝鮮の百済を助けるため、633 年 (14) で 唐 (1 のあとの王朝)・新羅 (しらぎ) と戦い、負けた。10 は (15) となり、国内の改革をすすめた。

15 の後継ぎをめぐり、(16) がおこり、勝利した (17) とその妻の持統天皇のときに、701 年中国の 唐 になった (18) が完成し、天皇を中心とする政治のしくみが整えられた。

ヒント

おののいもこ、しやかきんそんぞう、たいか、かいしん、じんしん、らん、てんむてんのう、てんじてんのう、しょうとくたいし、たいほうりつりょう、
なかとみのかまたり、かんいじゅうにかい、ほうりゅうじ、ずい、こうち、こうみん、あすかぶんか、はくそんこう、なたかい、じゅうしちじょう、けんぽう、
なかのおおえのおうじ、けんずいし、

面倒くさくても、漢字で書いてください。

飛鳥時代の確認問題

- 問1 聖徳太子は推古天皇の摂政となり、豪族の何氏と協力したか。
- 問2 聖徳太子は十七条の憲法で、だれの心構えを示したか。
- 問3 聖徳太子は、中国の進んだ制度や文化を取り入れるため、何を派遣したか。
- 問4 聖徳太子は能力ある者を役人に取り立てるために定めた、制度は何か。
- 問5 聖徳太子が建てたとされる現存最古の木造建築がある寺院は、何か。
- 問6 聖徳太子のころ、日本で最初の仏教文化は何か。
- 問7 645年中大兄皇子と中臣鎌足らが、蘇我氏をたおしてはじめた政治改革を何というか。
- 問8 7の改革で、各地の豪族が支配していた土地と人々を、国が直接支配するとした方針を何というか。
- 問9 701年唐の律令にならって完成した政治のしくみを何というか。
- 問10 663年中大兄皇子らが大軍を送って助けようとした朝鮮半島の国はどこか。
- 問11 日本が唐と新羅の連合軍に負けたこの戦いを何というか。
- 問12 11のあと中大兄皇子は即位して、何天皇となったか。
- 問13 672年12のあとをめぐり起きた戦いを何というか。
- 問14 13に勝利して天皇に即位したのは、だれか。

・奈良時代の暮らし (律令国家のしくみ)

律令は、(1)が刑罰のきまり、(2)が政治のきまりを表し、中国の(3)にならった法律中心で政治を行うしくみ。日本各地は、「国」とその中を「郡」に分けられ、国には(4)という役人が中央から派遣された。

710年に新しい都として、(5)が作られた。朝廷は戸籍に基づいて、人々に(6)という土地を貸し与える(7)を定めた。人々には(8)・(9)・(10)などの税が課せられた。

(8)：収穫量の約3%の稲を納める

(9)：地方の特産物

(10)：労役の代わりに納める布

9と10は、人々が5まで運ばないといけなかった。

また、九州北部を守るための(11)を東国の人々などが負担した。

人口が増えて6が不足してきたため、朝廷は人々に土地の開墾をすすめようと、743年(12)法を出し、新しく開墾した土地を永久に私有することを認めた。寺社が中心に開墾が行われ、この私有地はのちに(13)と呼ばれた。こうして(14)の原則がくずれはじめた。

奈良の都と天平文化

(15)天皇のころ、伝染病やききん、貴族どうしの争いなど、社会が不安定になった。そこで、仏教の力で国を守ろうと考え、国ごとに国分寺と国分尼寺を建て、都には大仏のある(16)を建てた。

15のころの文化を(17)といい、唐の影響を受けた国際色豊かな文化が特徴。15が所持した品々は(18)に納められた。シルクロードを通して、インドや西アジアから唐に伝わったものを、遣唐使が持ち帰ったものが多い。

壱田永年私財法、班田収授法、天平文化、令、租、庸、律、調、平城京、荘園、聖武、正倉院、
公地公民、防人、口分田、国司、律令、

奈良時代の確認問題

- 問1 710年律令国家の新しい都としてつくられたのは何か。
- 問2 朝廷は戸籍に登録された6歳以上の男女に田を与え、その人が死ぬと国に返すことにした。この制度を何というか。
- 問3 2の制度で6歳以上の人々に与えられた田を何というか。
- 問4 収穫量の約3%の稲を納める税を何というか。
- 問5 成人男子に課せられた税で、絹や魚など地方の特産物を納める税を何というか。
- 問6 成人男性に課せられた税で、労役のかわりに布を納める税を何というか。
- 問7 壱田永年私財法が出された結果、貴族や寺社はさかんに開墾を行い、何を広げたか。
- 問8 聖武天皇は仏教の力で国を守ろうと、国ごとに建てた2種類の寺院を何というか。
- 問9 聖武天皇のころに栄えた国際色豊かな文化を何というか。
- 問10 聖武天皇の所持した工芸品は、東大寺の何に納められているか。
- 問11 10の多くは、西アジアやインドから何を通して日本に伝わったか。
- 問12 奈良の大仏がある寺院を何というか。
- 問13 天平文化は中国の何の時代の影響を強く受けているか。

要点チェック (レベル 2)

1, 律令国家への道のり

① 中国の変化

6 世紀末 (1) が南北に分裂していた中国を統一。

7 世紀初め、1 に代わって (2) が中国を統一。 (3) という法律や制度で支配。人々に土地を与え、租、庸、調の税や兵役を課す。

2 の都 (4) は (5) を通じて西アジアやインドの人々が訪れ、国際色豊かな文化が栄える。

676 年 (6) が 2 と結んで、朝鮮半島を統一する。

→ 中国や朝鮮ですぐれた文化が発展して、勢いを増した時代

② (7) の政治：推古天皇の摂政、蘇我馬子と協力

- ・ (8) : 家柄でなく個人の能力で豪族を役人にとりたてる。
- ・ (9) : 仏教を敬い、天皇の命令を守る役人としての心構え
- ・ (10) : 小野妹子を 1 に派遣。のち留学生を派遣して文化を学ぶ。
- ・ 飛鳥文化：日本で最初の仏教文化。7 が (11) を建てる

③ 645 年 (12) : 中大兄皇子と中臣鎌足らが蘇我氏を倒す。

(13) : 日本中の豪族の土地と人々はすべて天皇のものと宣言

663 年 (14) : 百濟を助けるため兵を出したが、2 と 6 の連合軍に敗れる

中大兄皇子は (15) となり、国内の改革を進める。

672 年 (16) : 15 の後、皇位をめぐる争いの結果、 (17) が即位。

2, 律令国家の成立

① 701 年 (18) の制定 2 の 3 にならった政治のしくみ。

- ・ 中央のしくみが整う：国の機関を文部科学省など〇〇省と呼ぶのはこのときから
- ・ 地方のしくみ：中央の貴族が (19) として派遣。国の下の郡は地方の豪族が治める

② 710 年 (20) が完成。2 の都 4 をまねて作られた。

ごぼん目のような区画。寺院や貴族の邸宅。地方の産物が集まる市、庶民の家、など。

都と地方を役人が往来するために、主要な道に駅・駅馬 (休んだり馬の交代をしたりする場所) を設置。

シルクロード、^{りつりょう}律令、^{こくし}国司、^{しょうとくたいし}聖徳太子、^{ほうりゅうじ}法隆寺、^{はくそんこう}白村江の戦、^{じんしんらん}壬申の乱、^{しらぎ}新羅、^{てんむてんのう}天武天皇、

^{たいほうりつりょう}大宝律令、^{へいじょうきょう}平城京、^{ぜい}隋、^{ちょうあん}長安、^{かんいじゅうにかい}冠位十二階、^{じゅうしちじょう}十七条の憲法、^{けんぽう}公地公民、^{てんじてんのう}天智天皇、^{とう}唐、^{けんぜいし}遣隋使、

^{たいか}大化の改新、^{かいしん}

漢字の「よみがな」もチェック！

③ 人々の負担

(21) : 戸籍をもとに 6 歳以上の男女に(22)を与え、死後は国に返させる

・ 税の種類

(23) : 収穫高の約 3%を納める

(24) : 労役の代わりに布を納める

(25) : 地方の特産物を納める

24 と 25 は都まで運ぶ必要があった

その後、人口増加で 22 が不足する

743 年(26) : 開墾した土地は、永久に私有地にしてよいと認める。13 がくずれる
貴族や寺社に開墾された土地は、のちに(27)と呼ばれる。

3. 国際色豊かな文化

① 遣唐使の派遣

留学生・留学僧が 2 の制度や文化を学び、日本に伝えた

(28) : 2 の僧で苦難の末、日本に来て仏教の発展に尽くす。

② (29) : 聖武天皇のころ、仏教の影響を受けた、国際色豊かな文化

鎮護国家：仏教の力で国を守ること

都に大仏のある(30)、諸国に(31)と(32)を建てる

(33) : 聖武天皇の遺品などをおさめた建物

「34 」 「35 」 : 日本の神話や伝承などをまとめた歴史書 35 は漢文。

「36 」 : 国ごとの自然・産物・伝承などを記した地理書。

「37 」 : 奈良時代にまとめられた、天皇、貴族から民衆までの歌を収録

万葉集、口分田、鑑真、天平文化、庸、国分寺、風土記、班田収授法、墾田永年私財法、

調、荘園、東大寺、正倉院、古事記、租、国分尼寺、日本書紀、

* 要点チェック問題は、すべての答えが□の中にあります。

問題中の数字だけは、その数字の () に入る語句と同じ語句が入ります。

ページ順に解かないと、内容を理解できないので、必ずページ順に解いてください。

確認問題 (レベル 3)

・年表中の語句について、漢字を適切に使って書きなさい。

時代	世紀	できごと	中国
飛鳥時代	6	589 年(1)が中国を統一する	(1)
		593 年(2)が推古天皇の摂政となる	
	7	603 年 2 が才能により役人を採用するために(3)を定める	
		604 年 2 が役人の心得を示す(4)を制定	
		607 年小野妹子らを遣隋使として派遣する	
		618 年唐が中国を統一する	
		645 年中大兄皇子と(5)が蘇我氏を倒す	
		663 年白村江の戦で唐と新羅の連合軍に敗れる	
		672 年皇位をめぐって(6)が起こる	
		673 年 6 に勝った大海人皇子が天武天皇になる	
8	701 年唐にならって(7)を制定		
	710 年都を平城京に移す		
	743 年(8)が出され、新たに開墾した土地を永久に所有することが認められる		
	752 年東大寺の大仏が完成する		
奈良時代			

- 問 1 仏教の導入に反対する物部氏を倒し、聖徳太子と政治を行ったのは、何氏か。
- 問 2 奈良県飛鳥地方を中心に栄えた日本最初の仏教文化を何というか。
- 問 3 1 を倒して、天皇中心の政治を目指した改革を何というか。
- 問 4 3 の中心人物で、のちに天智天皇となったのはだれか。
- 問 5 4 の人物が百済を助けるために大軍を送り、唐・新羅の連合軍に敗れた戦いを何というか。
- 問 6 唐のように法令に基づいて政治を行うしくみを何というか。
- 問 7 唐の文化や制度を取り入れようと、朝廷が派遣した使節を何というか。
- 問 8 唐の文化と仏教の影響を受けた、聖武天皇のころの文化を何というか。
- 問 9 戸籍に基づいて 6 歳以上の男女に口分田を与え、その人が死ぬと国に返させた法を何というか。